



特別養護老人ホームみちのく荘

まるめろ通信

【まるめろ通信 / 第 100 号】

発行日 / 2014 年 5 月 25 日

発行 / 青森社会福祉振興団

十二林みちのく荘 0175 (23) 1600

金谷みちのく荘 0175 (23) 0781

みちのくクリニック 0175 (23) 1171

城ヶ沢みちのく荘 0175 (24) 3163

Eメール / marumelo@michinokuso.or.jp

特集

真空調理工場

みちのく城ヶ沢フードセンターが いよいよ今夏オープンします!!

今年の夏、むつ市城ヶ沢に最新の真空調理機器を導入した調理工場「みちのく城ヶ沢フードセンター」が新たにオープンします。当法人では現在、金谷、十二林、城ヶ沢の各事業所の利用者の皆さんへ、毎日約650食の食事を提供しています。

各施設の厨房で調理するのは、炊き立てご飯やお粥、味噌汁、焼き魚、揚げ物、サラダ、和え物、おひたしなど、管理栄養士が作成した献立を、調理師が腕をふるって調理しています。そして、当法人で力を入れていっているのが6年前から導入した真空調理です。

真空調理とは、食材(生、または下処理をした状態のもの)を、調味液とともに専用のフィルムに入れて、真空密閉して低温加熱する調理方法です。

真空状態で調理することで、食材の旨みや香りをそのまま閉じ込めることができます。また、調味液が食材に均一に浸透するため、余分な塩分や糖分を控えることもできます。こ

れが真空調理が「健康に良い調理方法」と言われる理由です。低温でじっくりと加熱されたお肉は、高齢者でも噛み切りやすい柔らかい状態になり、魚も骨まで丸ごと食べられるくらい柔らかくなります。

利用者の皆さんに、真空調理された料理で好きなメニューを尋ねると、豚の角煮やさんまの柔らかく煮、イワシの山椒煮、ポークカレーが人気上位です。

現在は、みちのく金谷総合サービスセンターの厨房施設にある真空パック専用機械で真空調理したものを配送をしています。みちのく城ヶ沢フードセンターがオープン後は、ここが真空調理の配送拠点となります。

●施設の特徴(安全・衛生第一の設備)

みちのく城ヶ沢フードセンターでは「食の安全」を第一に考え、衛生面を強化するために、厨房入口に、エアシャワーを設置しました。

これにより、制服に万が一ほこりや髪の毛が付いていたとしても、エアシャワーで簡単



食材を均一に、温める、焼く、蒸す、茹でることができるスチームコンベクション。



お弁当は、密閉した状態で利用者の元へ届けられます。



全ての作業室に入る前に、エアシャワーを通ります。

建設工事竣工のみちのく城ヶ沢フードセンター、オープンに向けて5月末より試験稼働します。



真空調理で、鶏の胸肉もしっとりと柔らかく仕上げることができます。

に炊き飛ばすことができます。

衛生的な状態で厨房に入ることができます。

他にも異物混入を防ぐための装置として、金属探知機やエックス線異物検出器も導入しています。

調理師の制服は、異物混入対策仕様(縫い代のほつれを防いで、体毛落下の心配のない生地)を施したもので、かつポケットが無いものを着用することにより安全を強化し、「持ち込まない」を徹底します。

また厨房内には、調理師の技術向上を目的としてデジタルカメラを設置します。

撮影した映像を職員間で共有し、新米調理師がベテラン調理師の技術を「見て学ぶ」仕組みも取り入れました。

●市民の皆さんへの提供サービス

みちのく城ヶ沢フードセンターの提供するサービスの一つに、お弁当の宅配サービスがあります。

むつ市居住の65歳以上の高齢者で、一人暮らし、または夫婦世帯の方を対象にしたサービスですが、食事を届けるだけでなく、職員が一人一人に声を掛けながら日々の状況確認などを行うことで、高齢者が安心して地域で暮らしていくお手伝いをしていきます。

また将来的には高齢者だけではなく、子育てで時間の取れないお母さんや、仕事で忙しいビジネスマンなど、利用できる対象者を広げていく予定です。そして宅配地域も拡大し、宅配サービスを希望する全ての方に、安心・安全なお弁当をお届けしたいと考えています。

みちのくクリニックに 小野先生をお招きしました!!

小野胃腸科内科医院院長として約45年にわたり、むつ市の地域医療に貢献された小野不二男先生が、みちのくクリニックの非常勤医師として勤務することになりました。

写真や読書が趣味という小野先生に、みちのくクリニックでの抱負を聞くと、「自分の家族のように患者に接し、患者の訴えによく耳を傾けていきたい。」と話されました。

小野先生による診療は、毎週月曜と水曜で、5月12日より始まります。地域の皆さんに貢献できるよう職員一同頑張りますので、今後みちのくクリニックをよりよくお願いします。

●みちのくクリニック案内

診療科 / 内科・リハビリテーション科

診療時間 / 9時～18時

休日診 / 土曜・日曜・祝日

小野先生による診療 / 月曜・水曜



小野先生、よろしくお願いします。

みちのくクリニック 案内看板設置しました!

みちのくクリニック駐車場入口に、案内看板を設置しました。かねてより「みちのくクリニックの場所が分かりづらい。」との声をうけていましたが、今後はこの看板を目印として活用いただければと思います。



夜間には文字が点灯します。

やさしい街づくりを応援しています。



みちのくクリニック

〒035-0067 むつ市十二林 17-1 TEL 0175-23-1171

診療科 内科・リハビリテーション科
クリニック併設: リハビリテーションセンター
(外来リハビリ、訪問リハビリ、デイケアセンター)

診療日 月曜～金曜 (祝日、年末年始は休診)

診療時間

午前の部 9:00～12:30
午後の部 14:00～18:00

みちのくクリニック院長 / 川部 汎康
非常勤医師 / 小野 不二男

厚生労働大臣より 感謝状を賜りました!

3.11の東日本大震災の際、当法人では職員を被災地の特別養護老人ホームへ派遣しました。このことについて、県知事の推薦を受け、4月25日に厚生労働大臣より感謝状をいただきました。

みちのく荘の中山園長が 春の藍綬褒章を受章!!

特別養護老人ホームみちのく荘の中山園長が、平成26年の春の藍綬褒章を受章し、5月12日に厚生労働省にて、厚生労働大臣より伝達されました。
青森県内での、紅綬・緑綬の受章は各1団体、藍綬の受章は13名でした。

みちのく金谷デイサービスセンターに 新プログラムが加まりました!!

みちのく金谷デイサービスセンターには、決まったスケジュールはありません。利用される一人一人が、自分でその日の時間の使い方を決めていきます。体操に汗を流す人、料理の腕を振るう人、マッサージで癒される人など、様々なプログラムのの中から選択して、思い思いの時間を過ごしています。

私たちは、みちのく金谷デイサービスセンターの特色である「選択して自己決定する。」をさらに充実させるため、新たなプログラムを加えました。

利用者一人一人の「私はこうなりたい。」という目標をかなえてもらうため、みちのく金谷デイサービスセンターは皆さんのお手伝いをします。利用についての相談や体験利用の申込みは、随時受け付けています。

お気軽にお問い合わせください。



楽しく簡単な運動で基礎体力を向上させます。

●新プログラムのテーマは「自分磨き」。

①好きな種類の運動をして体力作り

フライング教室、転ばない身体作り体操、筋力アップ体操、インストラクターによる活き活き体操。

②正しい食生活から健康な体作り

口の体操、料理教室、栄養教室（糖尿病や高血圧、肝機能低下の予防知識について）

③その他プログラム内容

・「岩盤浴さくらむつ店」のスタッフによるエステやマッサージ（有料）

・ウォーターベットのマッサージ機（有料）

・施設内の映画館での映画鑑賞（無料）

・脳トレ、トランプ、麻雀

・茶道教室

・創作活動（ガーデニング、小物作り等）

・毎月1週間のイベント（お出かけ等）

●「昼食も好きなものを選ぶ」選択形式。

みちのく金谷デイサービスセンターでの昼食は、その日のメニューの中から自分で食べたい物を選ぶ、選択形式をとっています。

料理は、各種定食や丼物、カレー

ライス、パン類や麺類など、和洋

折衷、様々なものを提供します。

メニューは週替わりで、1日5種類

を用意しています。

●お問い合わせ

みちのく金谷デイサービスセンター

電話 / 0175 (23) 0771

担当 / 今・佐賀

関野準一郎版 東海道五十三次展 開催中!!

○第1回 4月4日(金) ~ 7月1日(火)
○第2回 7月4日(金) ~ 9月30日(火)



赤坂 (制作 / 1963 年)

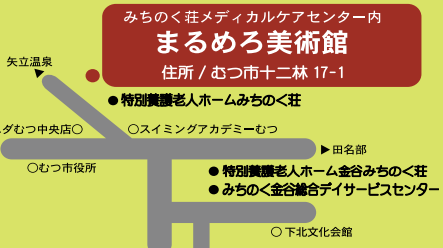
●来館者の声

- ・「初めてでしたが、落ち着いていてきれいな所ですね」(女性)
- ・「診療の待ち時間があるので見に来ました。」(男性)
- ・「むつ市に初めての美術館ができて嬉しいです。」(女性)

ご意見、ご感想、ありがとうございました。

▼まるめろ美術館ご案内

開館時間 / 10:00 ~ 16:00 休館日 / 水曜・木曜
資料代 / 300 円



社会福祉施設経営管理者海外研修 クロアチア、ドイツ報告④

特別養護老人ホームみちのく荘 園長 中山辰巳

2013年9月2日から9月12日、みちのく荘の中山園長が海外の福祉施設を訪問してきました。その報告を全4回シリーズにてお伝えします。

クロアチア・ザグレブ

リハビリテーションセンター

この国立施設は保健省の管轄で、社会福祉法に従い運営されている。以下、館長のペオドラ・ノットさんの話を要約して述べる。

対象者は知的障害のある幼児から若年者まで、全体では訪問ケアも含めて650名となっている。

クロアチアでは小学校教育は8年間(義務教育)であるが、入学年齢は定められておらず親の判断にもよるがおよそ7歳位である。高校教育は4年間である。また、保育所は大変不足している。

スタッフは、精神科医、ソーシャルワーカー、看護師、理学療法士、教師を配置している。これからは、集団からグループ化(3~7人)を進め、「社会生活への適応」を目標に自宅復帰の促進を図りたい。もちろん、個別プログラムもあり、理学療法士や作業療法士による①音楽療法②動物(乗馬)療法③植物セラピー等がある。

特に多間隔訓練は、黙っていることができない、テレビも見れない子どもを対象としたリラクゼーションの一つとして行っている。

想像するに、戦争を起因とする病める大人たちからの第二の被害者だと思われる。

2007年から親によるヘルパー制度も創設し自分の子どもをケアしながら給料が貰える事も可能となった。一方、今すぐにも両親から離さなければならぬ子どもも最近多くなっている。



リラックスさせるため部屋を暗くし、音楽を流します。



心に傷を負った子どもがリラクゼーションを図ります。

しかし、財政難であり2016年よりセンター内住居は残すが、長期滞在者については廃止を目指している。いずれにしても、最終ゴールは社会生活へ適応させる事であり、一人一人に対応した環境をつくり雇用を確保し余暇をいかに自由にゆとりを持って過ごして貰うよう努力したい、とのこと。

そして、やはり、ここでも民族差別があり特にジプシーへの偏見は根強い。例えば同じ教室での授業についても拒否する親が少なからずいる。

また、ヘルパーの給与は月額7万円位であるが、高い安いは問題ではないと言われた。しかし、現場に居合わせたスタッフはこの発言に皆、淡い顔をしていた事が、印象に残った。

最後にあたり、クロアチアは先頃欧州連合に加盟を果たした。その大きな理由として、自国の政治(家)だけでは改革は

遅々として進まないと言われている。

推進力を外に求めなければならぬこの国の現実が見える。この有り様は見方によつて、我が日本も同じ事が言えるかも知れない。グローバル化を強力に推進し種々の規制を取り払い、今よりも、もっとより良い社会にしたいと願うものである。

田中園長が結団式において、世界には福祉も日本とは異なり、遅れている所もあり、すべてが良いとは限らない。色々な国を訪問し研修を積み様々な事を知り事業に役立てて欲しいと話されました。

クロアチア人は、もし「お金と余暇」のどちらかを選べたら、間違いなく「余暇」を採ると言う。

今回の研修、調査を通して考えたことは、有意義な人生とは何か、価値ある働き方とは何か。そして何よりも、私どもの法人の経営を見直すより良い機会になったことが最大の成果となった。(完)

みちのく夏メロフェスタ開催!!

十二林のみちのく荘敷地内にて、夏祭りを開催します。コンセプトは「音と光と泉のハーモニー」です。コンサートや出店、花火など、たくさんのイベントを予定しています。

どなたでも心も体も食欲も満足できるお祭りを企画していますので、お問い合わせの上、ぜひお立ち寄り下さい。

●日時

7月19日(土)

午後5時~午後8時

●会場

十二林のみちのく荘敷地内(雨天中止)



敷地内にある噴水広場が、メイン会場です。

やさしい街づくりを応援しています。

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社
ニッショク
NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目13-35
電話 (0175) **22-7222**
FAX (0175) **22-7081**

快適な環境づくりのお手伝い

○介護用品のレンタル・販売
(車いす・ベッド・リハビリ機器他)

○住宅改修

株式会社 **シルバーサービス**
〒035-0033 むつ市横迎町2-9-13
TEL 0175-22-9511

暮らしの水を安全に。

汚物汲み取り・浄化槽清掃維持管理株式会社
下北環境保全
0120-221834
横迎町1-11-7 0175-22-1834
0175-22-1806

日本財団より助成金の交付を受けました。

このたびは、日本財団から、平成25年度助成金の交付を受けて、福祉車両2台を購入しました。

この2台は、みちのく十二林シヨートステイと、みちのく金谷シヨートステイの送迎車両として、それぞれ使用します。

日本財団をはじめ、関係者の皆さまのご協力に心より感謝します。